



報道発表資料の配信日時 1月31日(月) 10時00分

発表項目 (行事名)	「第2回 北海道生物多様性保全ダイアログ」の参加者募集について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>生物多様性の国際目標である愛知目標は、昨年、完全に達成できた目標がなかったという評価を受け、自然との共生に向けては、様々な分野で社会変革が必要とされており、来年のポスト愛知目標の採択に向け議論が行われています。</p> <p>北海道環境パートナーシップオフィス (EPO北海道)、北海道生物多様性保全活動連携支援センター (HoBiCC) と道では、国による次期生物多様性国家戦略の検討経過を踏まえ、今後の北海道生物多様性保全計画の見直しにあたり、広く道民・事業者と北海道の自然環境を巡る課題や自然との向き合い方を考えることを目的に、次のとおりダイアログ (オンラインの対話型集会) を開催します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日 時 2月16日(水) 16:00～17:30</p> <p>2 開催形式 オンライン開催 (Zoom meeting)</p> <p>3 テーマ 環境保全はなぜ難しいのか</p> <p>4 内 容</p> <p>【ゲスト】 北海道大学大学院文学研究院 教授 宮内 泰介氏</p> <p>【モデレーター】 酪農学園大学農食環境学群 環境共生学類 准教授 吉中 厚裕氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマについて、ゲストによる講演 ・ 参加者からの質問・コメント (チャット上) にゲストが回答 <p>5 申 込</p> <p>① 定 員 : 150名</p> <p>② 参加費 : 無料</p> <p>③ 対 象 : 北海道の自然環境に関心のある方、一次産業や観光などに関わっている方</p> <p>④ 申込方法</p> <p>申込フォームを使用又は代表メールに必要事項 (氏名、所属、連絡先メールアドレス) を送信。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申込フォーム : https://epohok.jp/event/14540 ・ 代表メールアドレス : epoh-webadmin@epohok.jp 		
参 考	来年度にかけて、不定期にテーマを変えて複数回開催の予定です。		
報道 (取材) に当たってのお願い	幅広い分野に関わる方々に多く参加いただきたいので、積極的な報道をお願いします。 当日の取材をご希望の場合は、上記申込フォームからお申し込みください。		
他のクラブとの関係	同時配付 (場所)	同時レク	
担 当 (連絡先)	北海道環境パートナーシップオフィス 担当 福田 Tel.011-596-0921 環境生活部環境局自然環境課 担当: 主幹 橋本 (内線) 24-389 (ダイヤルイン) 011-204-5987		

北海道生物多様性保全 ダイアログ

～保全計画改定への期待～

オンライン

150名

(参加無料)

第2回「環境保全はなぜ難しいのか」

北海道では、2023年度に北海道生物多様性保全計画を改定する予定です。改定にあたり、北海道の自然環境をめぐるさまざまな課題や取り組みを知り、私たちは自然とどのように向き合っていくべきかを各分野の専門家とともに考えていく連続セミナーを開催します。

第2回目は、環境社会学の立場で地域の自然環境保全・再生などを研究されている北海道大学の宮内泰介さんから話をうかがいます。環境保全はなぜ簡単ではないのか、うまくいくためのポイントはどのようなことか、地域のさまざまな人々に関わる道内外の事例をひもといってお話しいたします。そこから、今後の北海道の生物多様性保全政策に何が必要か一緒に考えていきます。

ゲスト

宮内 泰介氏（北海道大学大学院文学研究院 教授）

モデレーター

吉中 厚裕氏（酪農学園大学農食環境学群 環境共生学類 准教授）

日時：2022年2月16日（水）16:00～17:30

対象：北海道の自然環境に関心のある方、
一次産業や観光など生態系サービスにより地域経済を担う方

申込：申込フォーム（<https://epohok.jp/event/14540>）または、
下記代表メールに＜氏名、ご所属、連絡用メールアドレス＞を
ご記入しお申込みください。

問い合わせ：北海道環境パートナーシップオフィス（EPO北海道）
（担当：福田）

TEL：011-596-0921 E-mail：epoh-webadmin@epohok.jp

主催：北海道環境パートナーシップオフィス、
北海道生物多様性保全活動連携支援センター（HoBiCC）、北海道

プロフィールやダイアログについては、裏面をご覧ください

プロフィール



第2回ゲスト 宮内 泰介氏

北海道大学 大学院文学研究院 教授

博士（社会学）。1994年、福井県立大学に講師・助教授として勤務。1997年から現職。専門は環境社会学であり、自然環境と地域社会との関係や環境保全政策、災害・復興等を研究テーマとしている。NPO法人さっぽろ自由学校「遊」（2006年より共同代表）を軸に、北海道での市民活動・まちづくり活動に従事。2013年より北海道アザラシ管理検討会構成員に就任、漁業被害認識調査を行う。2015年からは国の自然再生専門家会議委員に就任。



モデレーター 吉中 厚裕氏

酪農学園大学農食環境学群 環境共生学類 准教授

京都大学理学部人類進化論講座卒業、北海道大学大学院環境科学研究科修士課程修了。パークレンジャーとして各地の国立公園（阿寒、利尻礼文サロベツ、釧路湿原、知床等）で勤務。カナダ北方森林研究所客員研究員、在ケニア日本国大使館一等書記官・国際連合日本政府常駐副代表、環境省釧路自然環境事務所次長、環境省地球環境局調査官、国際連合生物多様性条約事務局地球規模調整部長などを経て、2017年より現職。北海道環境審議会委員（自然環境部会長）、北海道環境影響評価審議会委員を務める。

ダイアログについて

本ダイアログは、2022年度にかけて継続して実施します。

今後、「自然再生」「気候変動」「再生可能エネルギー」など、生物多様性に関わるテーマを複数取り上げていく予定です。ぜひご参加ください！

☆北海道生物多様性保全計画はこちらをご覧ください（北海道HP）

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/hokkaidotayouser.html>

* 関連イベントのお知らせ

今後、次のイベントが予定されています。ぜひご参加ください！

○さっぽろヒグマフォーラム2022

日時：2022年2月26日(土)14:00～16:30（オンライン）

対象：札幌市民、300名程度（参加費無料）

主催：札幌市環境局環境都市推進部環境共生担当課